

社協だより

第178号

令和5年
9月10日発行



誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを推進します



編集・発行

社会福祉法人 佐渡市社会福祉協議会

<http://care-net.biz/15/sado-shakyo/>

佐渡市社協

検索



佐渡市畑野甲533番地 TEL 0259-81-1155 FAX 0259-81-1156



あたたかいご寄付をありがとうございます

令和5年6月16日～令和5年8月15日(順不同)

諏訪参道フリーマーケットご来店の皆様 … 3,408円
岩首福祉会 様

………… フェイスタオル88枚、介護用品多数

川上 克巳 様(新穂青木)………… 衣類

夷八の町 町内会 様 …………… 4,000円

川端 欽吾 様(水津)………… フェイスタオル80枚

小木中学校昭和41年度卒業生同級会 様

………… 24,304円

石塚 様(金丸)………… 5,000円

真宗大谷派 東部護法講 様 …………… 50,000円
佐渡たばこ組合 様

………… フェイスタオル120枚、ウエス多数

匿名………… 介護用品多数

匿名………… 1,000円

匿名………… 折りたたみベッド1台

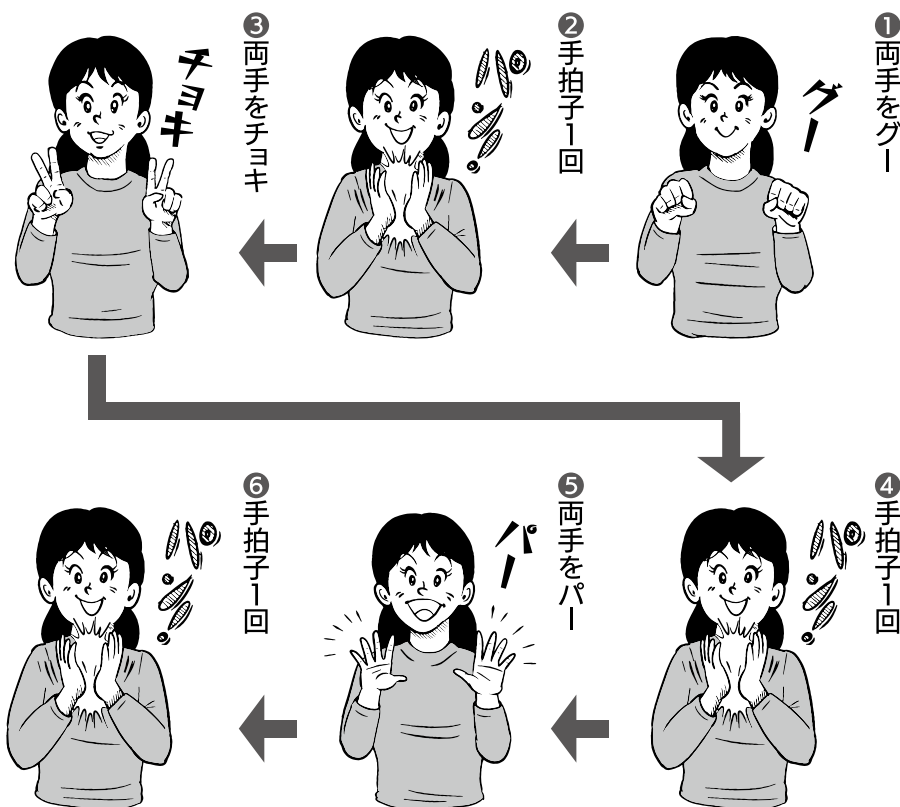
匿名………… 300,000円

匿名………… 1,000円

デイサービスセンターの 職員オススメ!

かんたん体操

しゃくなげでは、認知症予防の脳トレをメインに、認知機能の低下を防ぐ体操やクイズをしています。また、日常生活動作につながるゲームなどで体を動かし、楽しい雰囲気の中で心身の機能訓練を行っています。



最初は
ゆっくり、
徐々に早めて
行くと
筋トレにも
脳トレにも
なりますよ!



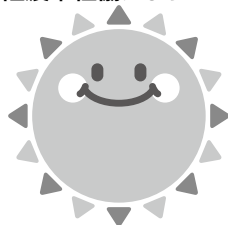
今回の担当
両津デイサービス
センターしゃくなげ
介護職員
山本 翼

「もっと体を動かしたい!」
「仲間と一緒に体操したい!」

そんなときは、介護予防教室へ♪

社協は佐渡市から委託を受けて、市内各地で「介護予防教室」を開催しています。「介護予防教室」はおおむね65歳以上の方が対象で、健康寿命を延ばし、いつまでも生き活きと自分らしく生活してもらうことを目的としています。お問合せは社協本所・各支所・各地域センターまで。お待ちしております。

※佐渡市の健幸ばいんと対象事業です。



ボラ日和



ボラ日和に
関するお問合せは
佐渡市ボランティアセンター
☎81-1155

令和5年度「夏休みボランティア体験プログラム」を実施しました！

今月の表紙

夏休み期間を利用して、小学校3～6年生・中学生・高校生を対象に、地域で行われているボランティア活動や福祉事業の体験を行いました。児童クラブや社協以外のデイサービス施設からも実施にご協力をいただきました。活動の様子・感想をご紹介します。

★地域の茶の間スタッフ体験

地域の茶の間でスタッフとお茶出しなどの準備を行いました。
○体験をとおして
「ふつうではこんな体験ができないので、良い体験ができました。」

○スタッフ・参加者から
「準備などお手伝いしてくれて助かった。」「また遊びにきてほしい。街でみかけたら声をかけてね。」



★グループホームで壁飾りづくり

○体験をとおして
「おばあちゃんたちがみんな笑顔で楽しそうにしてくれて、私もとっても嬉しかったです。」

○グループホームから
「中学生と一緒に一つの作品を作り上げ、楽しい時間を過ごすことができ、喜んでおられました。ユニットに飾ってある作品を眺め、『夏らしくて良いわね。』と、誇らしい笑顔が見られました。」



★配食サービスボランティア体験

お一人暮らしの高齢者のお宅へお弁当をお届けしました。
○体験をとおして
「耳が遠い人は、インターホンを押したり声をかけても出てこなくて、ちょっと大変だなと思いました。でもこの活動で助かるならすごい良い活動だと思います。」



○ボランティアから
「小学生と回り、耳が遠い方や家の中で押し車を使用している方の家に伺い、なかなか出てこない方の対応などを細かく伝えることができました。子どもからのメッセージを渡したときの利用者の笑顔を見て喜びを感じました。ボランティア活動の元気をいただきました。」

★デイサービスボランティア体験

ドライヤーかけやシーツ替え、お茶出し、レクリエーションなどを行いました。
○体験をとおして
「高齢者の人と関わる時に声を大きくし

たり、ゆっくり話したりすることが意外と難しく、どう話しかけたらいいのか分からなかったり、何度も実践しないと難しいなと思いました。これから関わる機会があるときは、もっと声をかけられるようにしたいと思いました。」
「おじいさん、おばあさんのお手伝いをするのが嬉しい」といことが分かりました。」

体験後、全員に
修了証を
授与しました！



来年もご参加
お待ちしております！



SNSで
情報発信中

佐 渡 市
ボ ラ ン テ ィ ア
セ ン ター
公 式 LINE



ボラセンLINE
QRコード



社協の使命！地域福祉事業を紹介します

地域福祉事業に関するお問合せは、福祉課地域福祉係（☎81-1155）まで



「見守り活動」と「支え合いマップづくり」

地域住民が声かけなどを行いながら、一人暮らしの高齢者などを「さり気なく」見守る「見守り活動」と、住民それぞれが持っている地域の情報を住宅地図に書き込んで「見える化」する「支え合いマップづくり」。この2つの事業には良い相互作用があり、最近では見守り会議（見守り活動に取り組んでいる地域で行われる年1回ほどの会議）の中で、支え合いマップづくりをすることが増えてきています。



支え合いマップづくりの様子

支え合いマップづくりで話し合いながら情報を書き込んでいくと、地域の状況がつかみやすく、頭の中にある情報が整理されて「気になる人」※の共有がしやすくなります。ここで共有した情報はその後の見守り活動に活かされ、また次の年のマップづくり（情報更新）へとつながっていくという流れで循環していくのです。

「自分たちの地域は自分たちで見守る」という気持ちは、住み慣れた地域での暮らしを支える大きな力になります。この気持ちを地域内に広めるためにも、皆さんの地域で支え合いマップづくりをしてみませんか？見守り活動が行われておらず、マップづくりも初めての地域では、災害時の避難や助け合いにつながる「避難マップづくり」から始めることをおすすめします。ぜひ社協へご連絡ください。お待ちしております！

※地震や大雨などの災害時に周囲のサポートが必要な方や、他の住民とのかかわりが少なく孤立しがちな方、認知症の症状などから見守りやサポートが必要と思われる方など。

見守りについて話を聞いてみたら、イメージが変わりました。あまり気負わず、あいさつから始めています。

マップづくりに参加して情報を地図に落とし込んでみたら、地域の中で見守りが必要な方が見えてきました。

マップづくりを通じて、若い世代と地域の現状を共有できて良かったです。

家族と同居していても、日中は一人で過ごしている人が多いことが分かったので、見守っていききたいと思います。

マップづくりを進めるうちに、避難場所や避難経路の確認、避難訓練もやっていきたいと感じました。





各種事業のご案内



社協は地域福祉事業のほか、相談支援事業や介護保険事業などを行っています。日々の生活や介護のことなどで困りごとや悩みごとがありましたら、お気軽にお問合せください。



地域福祉係



社協の基本理念「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを推進します」のもと、私たちが目指すのはズバリ！「しょうゆを借りに行ける関係性の再構築」です。近年、地域において課題とされる事柄は、昔ながらの付き合いが薄れてしまったことによって生まれたものが多いように感じます。もう一度地域のつながりを取り戻すために、やってみたいことはありませんか？これまでに各地で、「男のサロン」や「花植えとバーベキュー」、「みんなで食べるカレーライス」などが実現しています。型にこだわらない、皆さんのひらめきを教えてください。私たちと一緒に一歩踏み出しましょう！

さて、今回は地域福祉係の中から、CSW（福祉なんでも相談員）※1とSC（生活支援コーディネーター）※2をご紹介します。窓口にお越しの際や、さまざまな事業にご参加の際には、ぜひお気軽にお声がけくださいね！

両津支所 (両津)



長坂 義人
(CSW)

みんなが地域で安心して暮らせるようがんばります！お声がけください。

佐和田支所(相川・佐和田・金井)



富永 弘子
(CSW)

4月から金井担当となりました。早く地域を覚えてもらえるよう頑張ります。



後藤 優幸
(SC)

「あったらいいな」の声を形にする努力をします。



長嶋はるみ
(CSW)

この顔に「ピン」ときたら、声をかけてください。

羽茂支所(小木・羽茂・赤泊)



瀧川真美子
(CSW)

身近な相談窓口として、お気軽にお声がけください。



遠藤 美雪
(SC)

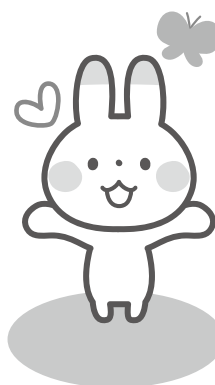
集落のことをもっと知りたいです。いろいろ教えてください。

本所福祉課 (新穂・畑野・真野)



引野 幸
(CSW)

暮らしのなかでの困りごとをお聞かせください。



※1…公的なサービスだけでは対応できない生活課題に対し、年齢や内容を問わず幅広い相談に応じる専門職

※2…住民が地域で元気に生活できるように、地域内の組織や機関、活動などをつなげて調整する専門職

第18回 佐渡市社会福祉大会

- 日 時 10月13日(金)
13:00～13:30 式典・表彰
13:50～15:20 記念講演
- 会 場 アミューズメント佐渡 大ホール
- 記念講演

「注文をまちがえる料理店の これまでとこれから」

講 師: ^{おぐに}小国 ^{しろう}士郎 氏(株式会社 小国士郎事務所 代表取締役)



～講師プロフィール～

2003年NHKに入局。ドキュメンタリー番組を制作するかたわら、200万ダウンロードを記録したスマホアプリ「プロフェッショナル 私の流儀」の企画立案や世界1億再生を突破した動画を含む、SNS向けの動画配信サービス「NHK1.5チャンネル」の編集長のほか、個人的プロジェクトとして、世界150か国に配信された、認知症の人がホールスタッフをつとめる「注文をまちがえる料理店」などを手がける。2018年6月をもってNHKを退局、フリーランスのプロデューサーとして活動。

- ・記念講演は講師と会場をZoom(Web会議システム)でつないで開催します。
- ・感染症の状況により、内容の一部変更または中止の可能性があります。

【問合せ】 総務課総務企画係 ☎81-1155

入場無料



介護職員(夜勤専従) 募 集 中

- 雇用形態 非常勤臨時職員
- 勤 務 地 グループホームまの(佐渡市長石213番地1)
- 勤務時間 (1)15時15分から 0時15分まで
(2) 0時15分から 9時15分まで
(3)15時15分から 9時15分まで
- 勤務日数 週4日以内
- 給 与 等 1時間あたり991円～1,074円
※別途、夜勤手当(430円/時間)等の支給あり
- そ の 他 仕事内容や申込方法等の詳細については、下記担当へお問合せください。
- 申込み・問合せ
総務課総務企画係(末武・筑前) ☎81-1155



赤い羽根 共同募金運動に ご協力をお願いします

令和5年度佐渡市目標額
13,705,000円

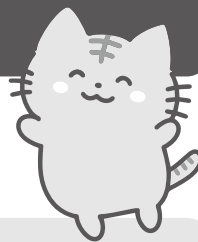
10月1日から12月31日までの3ヶ月、赤い羽根共同募金運動を実施します。皆さまのあたたかいご協力をお願いいたします。

なお、詳細につきましては10月10日発行の回覧文書等でお知らせいたします。



穴埋めクイズ

空欄（〇〇）に共通して当てはまるひらがなは何でしょう。



やってみよう!

かんがえて応募!

問 1

- ・け い 〇 〇
- ・〇 〇 た ば
- ・〇 〇 ま い も

問 3

- ・〇 〇 が ら
- ・と な 〇 〇
- ・〇 〇 ご ほ けん

問 2

- ・〇 〇 ぶ た
- ・さ 〇 〇 ま
- ・〇 〇 じ ぞ う

.... 答 え

問1

問2

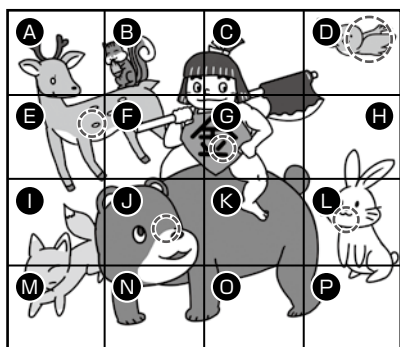
問3

【前回の答え】

177号の答えは

「D・E・G・J・L」

でした。



ご応募くださった皆さま、
ありがとうございました。

記載内容

・問題の答え・氏名（ふりがな）・住所
・電話番号・年齢・社協だよりへのご意見、ご要望など

宛 先

〒952-0206 佐渡市畑野甲533番地
佐渡市社会福祉協議会 社協だより担当者 行

※ご記入いただいた個人情報適切に管理し、景品の発送にのみ使用させていただきます。なお、当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。※ご記入いただいた質問や感想を紙面やホームページに掲載させていただきます。※各号につき、お一人様1回限りの応募とさせていただきます。複数応募の場合は1通のみ有効とさせていただきますのでご了承ください。

締切：10月6日(金)必着

※ご記入いただいた問題の答えの他、必要事項をご記入の上、左記宛先までお寄せください。
また、ホームページのお問合せフォームからもご応募いただけます。ハガキ同様に必要事項を入力し、送信してください。

【応募方法】

◎今月は正解者の中から抽選で5名様に、新穂地区「さわやか」様の「乾燥系こんにゃく」をプレゼントいたします。社協だよりへのご意見・ご要望などを添えて、どんどんご応募くださいー!





9月18日は敬老の日

今号では敬老の日を祝して
大正12年生まれ、元気な**100歳**の
皆さんをご紹介します！



せきぐち **シケ**さん
佐和田地区

食堂を営んでいたため、「若い人には任せられない」との思いで90歳までお店に出ていました。今の楽しみはデイサービスに来る移動販売の買い物で、好物のせんべいを買ってきてはおやつタイムを満喫しています。

子供の頃はいつも祖母と一緒にいる「おばあちゃん子」でした。物事を苦にせず、前向きにとらえて笑顔で乗り越える性格で、大変なことがあっても決してあきらめずに踏ん張ってきました。今は周りのみんなに良くしてもらって幸せです。



いちはし **市橋ツボミ**さん
両津地区



ほんま **本間 ツヤ**さん
小木地区

家では、ビニールひもを使って草履を作っています。半日で2〜3足くらいできますが、無理なくやっています。つくしへ行く日は、折り紙や体操をするのも楽しいですが、何よりみんなの顔が見るのが嬉しいのです。

体を動かすことが好きで、山や海に行つて山菜やサザエなどを採るのが趣味でした。食べるより採ることが楽しかったです。家族が「無理しないで好きなものを食べて元気でいてね。」と言ってくれているので、のんびりと過ごしています。



こばやし **小林 トリ**さん
小木地区

皆さん、ありがとうございました。これからもどうぞお元気で！

8月22日時点の内容で掲載しています。

子ども向け企画

この福祉用具なあに？

高齢の方や障がいのある方の生活をサポートするために、色々な福祉用具が作られているんだ。みんなは知っているかな？

今回はシニアカーだよ。



シニアカーは、その見た目から自転車や原動機付自転車のように思われることがありますが、実は車いすの仲間です。正式には「ハンド型電動車いす」と言います。道路交通法（道路での事故やトラブルを防ぐためのルールを定めた法律）では歩行者として扱われ、歩道（ない場合は道路右側の路側帯）を走行することになっています。

【特徴】

- ・運転免許は不要
- ・家庭用コンセントで充電できる
- ・買い物袋などの荷物が積める
- ・高い物など、目線の高さで移動できる
- ・最高速度は時速6km（大人の早歩き程度）
- ・1回に走れる距離は20〜30km程度



加齢や障がいによって足腰が弱くなると、外出がおっくうになり、家に閉じこもりがちになることがあります。そんなとき、シニアカーを使うことで目的地まで楽に移動できるのは魅力的ですね。また近年、運転に不安を感じるようになった方に自動車運転免許の自主返納を促す動きが大きくなっています。免許返納後の移動手段としても活躍しそうです。

シニアカーは、購入もしくはレンタルすることができます。レンタルの場合、使う人の介護度によっては「福祉用具貸与」として介護保険が適用になるので、担当のケアマネジャーに相談してみてくださいね。